

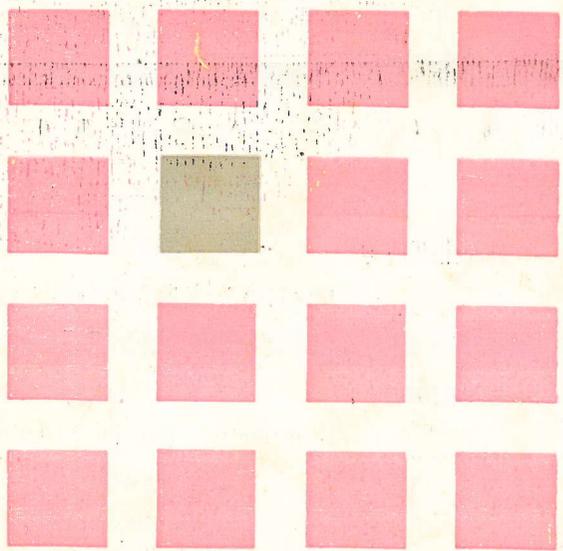
第七回旧三商大交歓音楽会

1961. 6. 26. MON. 6.00 P. M.

Osaka MAINICHIHALL

■ 旧三商大音楽連盟

- 神戸大学グリークラブ
- 神戸大学交響楽団
- 一橋大学コールメルクール
- 一橋大学管弦楽団
- 大阪市立大学グリークラブ
- 大阪市立大学交響楽団



第七回旧三商大交歓音楽会 プログラム

御 挨拶 大阪市立大学学長 福井孝治
エール交換

S T A G E 1

一橋大学コールメルクール 指揮 荒谷俊治

中世聖歌集

Christus factus est	G. P. Palestrina
Adoramuste, Christe	Orlando di Lasso
O vos omnes	Vittoria
Ave Maria	Vittoria
Surrexit Pastor bonus	G. P. Palestrina

神戸大学グリーンクラブ 指揮 村上晋一

世界民謡集

Black Is The Color
La Belle si Nous Etion
Rio Que Passas Llorando (Weeping River)
High Barbary

大阪市立大学グリーンクラブ 指揮 三沢正治

宮沢賢治詩集より 清水 脩 作曲

合唱組曲「青い照明」から

1. 普香天子 3. 森 4. 開墾 5. 高原

S T A G E 3

三大学合同オーケストラ

BEETHOVEN 指揮 阿井紀夫

Overture "EGMONT" OP. 84

序曲 エグモント 作品84

SCHUBERT

Symphony No. 8 "UNFINISHED" 指揮 阿井紀夫

1st movement Allegro moderato

2nd movement Andante con moto

交響曲 第八番「未完成」 口短調

STAGE 2

一橋大学コールメロクール

指揮 荒谷俊治
ピアノ伴奏 山崎春子

オペラ合唱曲集

獵人の合唱 ウェーバー作曲『魔弾の射手』より
水夫の合唱 ワグナー作曲『さまよえるオランダ人』より
僧侶の合唱 モーツァルト作曲『魔笛』より

神戸大学グリークラブ

指揮 村上晋一

グリーク男声合唱曲集作品30より

Marienlied
Der Taugenichts
Jung Ole
Ich legte mich am Adend

大阪市立大学グリークラブ

指揮 三沢正治

黒人霊歌

Wade in de water
Litte Innocent Lamb
Deep River
Set down Servant

TSCHAIKOWSKY

指揮 阪本良男

Suite "SWAN LAKE" OP. 20

- 1 Scene *moderato*
- 2 Valse *Tempo di valse*
- 3 Finale Scene バレー組曲「白鳥の湖」より

STAGE 4

合同演奏

ワグナー作曲 歌劇「タンホイザー」より「巡礼の合唱」

指揮 阪本良男

一橋大学学長
高橋泰蔵

神戸大学、大阪市立大学、及び一橋大学は数十年来、旧三商大の名称のもとに、学問、スポーツ、文化の各方面に亘って交流を行って来ました。その交流は距離的なへだたりという困難を克服して行われているものです。

日頃、社会科学、自然科学を学ぶ学生諸君にとって、生活にうるおいをもち、豊かな情操を養うなど、人間形成の上に、音楽から得られるところは、はかり知れないものがあると思います。

音楽を通じて三大学の友好親善関係を深めていくとともに、日本文化の一端に寄与する意味において、このたびの交歓音楽会が、これまで以上に成果をおさめ、今後ますます発展していくことを祈ります。

神戸大学学長
福田敬太郎

一橋大学、大阪市立大学、神戸大学は、旧三商大時代から学問、スポーツ、文化の各方面で交流を行ってきました。そして特に今夜このような交歓音楽会が催されるということは誠に喜ばしいことです。

音楽が如何に人と人の心を結びつけ、調和せしめ、人間生活を豊かにするかということは、あらためて申すまでもありません。どうか、素朴であって、しかも純真で、情熱のこもった学生音楽の良さを充分に発揮し、三大学間の友好関係を深め、ひいては学生諸君の人格形成の一助となることを祈ってやみません。

大阪市立大学学長
福井孝治

旧制商大時代からいろいろな面で密接な結びつきを持っていた一橋大学、神戸大学、大阪市立大学の間の交歓音楽会も回を重ねて、ここに第七回目を迎えることになりましたことは、誠に喜びにたえません。

よい音楽は風俗、習慣、言語、さらには人種の相違をも超えて人を感動せしめます。この点で音楽ほど普遍性を持つ芸術はないように思われます。ミュージックという言葉は「ミューズの技術」という意味のギリシャ語に由来し、本来は音楽以外の他の芸術をも含んでいたということですが、それが音楽だけを意味するようになったのも理由があることのように思われます。

私はこの交歓音楽会がミューズの神々にふさわしい楽しい夕べとなることを、心から祈るものです。

階上純喫茶ルーム新設

ソフトクリーム 大勉強
フルーツ ジュース

特製おはぎ

名物 ぜんざい

アベノ橋 **NO.1**
ナンバーワン



★神戸大学は、明治35年に設置された神戸高等商業学校を母体とし、戦後の学制改革により昭和24年、旧制神戸経済大学、姫路高等学校、神戸工業専門学校、兵庫師範学校が合併して生れた総合大学であり、現在、文・理・教育・法・経済・経営・工の7学部と、大学院には法学・経済学・経営学の各研究科が置かれている。

神戸大学の本部は景勝の地六甲連山の山ふところに抱かれた六甲台にそびえている。六甲台は昔赤松氏の居城のあった所。六甲山を背にして神戸市街、大阪湾が眼下に、天気の良い日には紀伊水道まで遠くかすみ、春は若葉が、秋は紅葉が美しい。ただ残念なことにはここには経済・経営・法学の三学部があるにすぎず他の学部は市内あるいは教養学部の一部が姫路にと点在している。将来は一般教養課程の姫路、御影両分校、長田にある工学部、御影の文・理学部がここに集まり、住吉の教育学部と共にまとまった総合大学としての形態をそなえようと、先年来たゆまぬ努力がかさねられており、現に工学部の移転工事が着々と進んでいる。

神大グリークラブの悩み — 神戸大学グリークラブ

私達のクラブの悩みは学部が分散していることです。特に教養課程在籍の学生の半分が姫路分校にいるため、部員の絶対数が不足していることは事実であり又部室が一昨年の伊勢湾台風の強風下に焼失し、現在練習場も転々とするという悪条件がかさなっていますが、このような条件のもとで活動することは、反面一層やりがいのあることであり部員の団結もかたくファイトを燃やしています。練習は週2回5時半から8時過ぎまで主に六甲台の講堂で行っています。練習の始まりのおそいのは六甲台以外の学部のグリーンメンの為なのですが、それでも練習を終えて、眼下にキラキラと宝石箱をぶちまけたような光のきらめく、みなと神戸の百万ドルの夜景をながめ、ハモリ、ダベリながら山を下りる

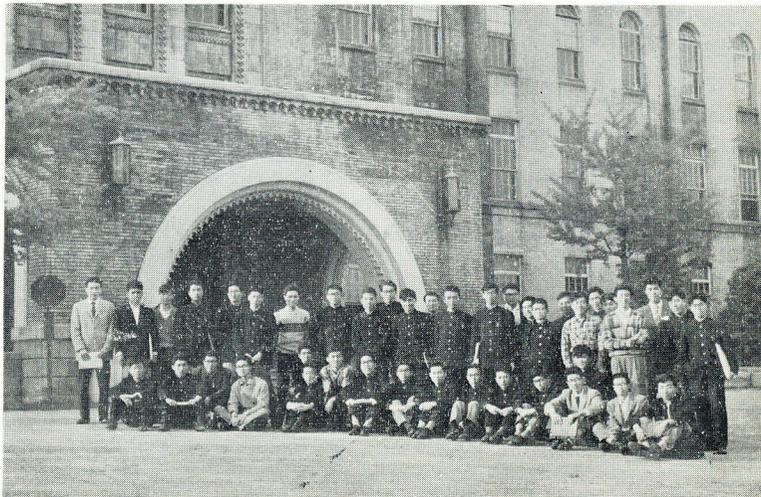
とき、グリークラブの楽しさがしみじみと感じられるのです。

前期の合唱活動としては、この音楽会以外には、神戸五大学、京阪神三大学の各交歓音楽会が例年行われており、又関西合唱連盟の合唱祭にも毎年参加しています。合宿は春、夏、秋と三度行っていますが、夏には、今までに山口、松山、高松、金沢、富山、広島、仙台、大山を訪問しており、昨年の合宿では、その一日を利用して全員わらじ履きで大山を縦走して男性の意気をあげました。今年は山梨で合宿を行ない、東京で発表会をもつ予定にしています。十二月は定期演奏会。一昨年は邦人作品のみを集め、昨年はドイツ合唱曲に重点をおいて、重厚なハーモニーを目標にしてきました。今年は世界の民謡をとりあげたのも分っていただけのように、さらに今までとはちがった新しいレパートリーを開拓していこうと努力しています。

先輩には夏の合宿等で凌霜会に非常にお世話になっており、又グリーのOB団体としては六甲男声合唱団



神戸大学グリークラブ ↓ 神戸大学オーケストラ ↑



があり、意欲的な活動を続けておられるのは大変心強く、今後も良き指導をうけてゆきたいと思っています。

今年は例年よりも新入生の入部も多く、新鮮な空気に満ちており、これを機会にややもすればコーラス愛好者の自分達だけの楽しみの場となり勝ちな傾向を極力とりのぞいて、豊かな音楽性と、多くの人々に訴える力をもった力強い合唱を目標に、今後も再々きびしい練習を続けてゆきたいというのが、今年のグリークラブ全員の抱負であります。

みなとを見おろす高台で

一 神戸大学交響楽団

神戸大学交響楽団はそのうぶ声をあげたのは、昔にさか上る事、実に46年の事。「今から45年前の大正4年、神戸市上筒井にある神戸高商の学生会館で、ピアノやヴァイオリンを持った数名の学生が、合奏を楽しんでいた。彼らはワグナー・ソサエティと称し神大オーケストラの歴史の源であった。」と戦後十周年記念誌の冒頭にあります。

その後順調な発展を辿った当部も戦争の荒波には、なすすべとてなく中断のやむなきに至りましたが、同志は昭和25年再び活動を開始し、現在の神戸大学交響楽団を作りあげました。

練習場もあちらこちらとわたり歩いてやっと昨年あたりから、赤塚山の住吉学舎に落ちつくことになりました。この練習場も又、六甲学舎に負けない程景色の良い所です。北は緑、南はみなと神戸を一望に見渡し、昼に夜に練習の帰り道、皆んなで語り合いながら山道を下るのは練習にもまして楽しい事です。

私達の悩みは部室がないことです。この解決にはいろいろ心をつかっていますが、そこは若人の集まり、

コンパをしばしばやったり、ソフトボール、合宿などを通して親睦を計り、楽しい活動を作り上げるよう努力しています。

昨年は、合宿地新潟でソフトボール大会をやって、優勝の呼び声が高かった「金管チーム」を「高絃チーム」が圧倒的な強さで敗ったのは痛快でした。

さて、練習は楽しいもの、時としてアンサンブルを楽しむ以外に、練習中にも様々な傑作が生まれます。先日の練習中も、丁度フォーレのエレジーをやっていた時です。絃の静かな伴奏にチェロが物淋しいソロを聞かせていた最中「ボーン」とホルンのフォルテッシモが突然鳴り響きました。どうやらこれはフィナーレあたりで誰もがよくやる失敗で、ホルン君の勘違いだったのですが、ホルン君そのまま黙っておればよいものを、当君極度に恐縮の意を表して、失敗した音以上のフォルテッシモで「ごめん！ ごめん！ ごめん！」には大笑いでした。

神大オケのパート日誌にはよく誌上討論会が開かれます。「神戸文化中心説」とそれに対する反論をはじめ、このオーケストラを「部」とみるか「楽団」とみるかでもめたりします。神戸に唯一の楽団であるという事からちよつと力んで、我々は神戸の音楽、文化向上に一役買うべきだという人、また一方、神戸大学のサークルにすぎないからそんな大げさな……。という人、血気盛んな20才前後の男女が50余名も集まれば随分色々な意見があるもので、遂に結論はみませんでした。結局みんなこのオーケストラをよくしようと考えて意見を述べ、書き、週2回の練習を楽しみに学生々活を送ってるのだということで、皆んなの意見は一致を見いだします。

これからも兄弟校一橋大、市大と共に、大いに練習に励み音と音、心と心の美しいハーモニーを作り上げていきたいものです。

TOMIYA

各種洋楽器・楽譜

(大信販クーポン取扱店)

トミヤ楽器店

大阪市天王寺区茶臼山99 アベノ北半丁西側

TEL (77) 4703

TOMIYA

三大学合同オーケストラ出演者名簿

	concert. master	森井久夫	conductor	阿井紀夫・阪本良男
1st Violin	朝日智三 (東京) 枝川茂明 (大阪) 香藤真知子 (大阪) 後藤真知子 (大阪) 丹下健能 (東京) 中西島井良康 (神戸) 英義孝俊 (大阪) 真上期藤久孝子 (神戸) 伊藤条田恵子 (大阪) 上黒園田田畑次代 (大阪) 高堤隆晴史 (東京) 藤原出井詳文 (大阪) 宮安久保隆幹 (神戸) 大白藤原喜一郎 (大阪) 吉田原喜一郎 (大阪) 石原藤羽哲公 (大阪) 加上藤羽昭夫 (神戸)	植田勝間 (大阪) 小川端明 (大阪) 川島野介 (大阪) 富田雅子 (大阪) 中村良吉 (神戸) 野村信夫 (東京) 浜中尚助 (大阪) 森井久夫 (大阪) 浦神保光 (大阪) 神田安和子 (大阪) 佐藤取謙治 (東京) 鷹高橋一紀 (大阪) 西藤宗清幸美 (神戸) 敷岡田石穂介 (大阪) 西村好和公脩 (神戸) 三好隆男 (大阪) 奥中恒男 (大阪) 金井彬 (東京) 桑田俊男 (大阪)	内田博重 (大阪) 小川恭邇 (東京) 黒田紀美子 (大阪) 副田篤也 (大阪) 長井文輝 (大阪) 中村節子 (神戸) 波多野泰弘 (大阪) 藤本恭子 (神戸) 笠原俊彦 (東京) 木村国広 (大阪) 佐々木延也 (神戸) 武貞橋敏子 (大阪) 高藤智恵子 (大阪) 三守桂佳子 (大阪) 佐々木秀雄 (東京) 野村裕二 (神戸) 吉川素六 (大阪) 大金塚真知子 (神戸) 金森真一 (東京) 鈴木一肇 (神戸)	

河合ピアノ



三木楽器

心斎橋支店・そごう北隣 (27) 2600~1

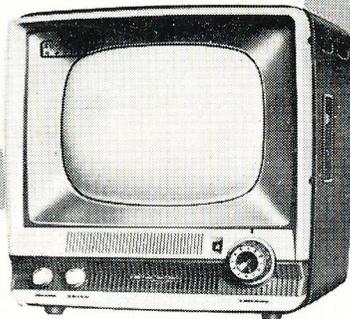
	鈴木誠 (東京)	高島正樹 (大阪)	松井敏郎 (神戸)
	馬淵功 (大阪)	渡辺寛 (大阪)	
Double Bass	梅田文一 (大阪)	大崎尚 (神戸)	白井次郎 (東京)
	下平弘子 (東京)	鳥山喬 (神戸)	中野稔 (大阪)
	水野三詮 (神戸)		
Flute & Piccolo	池田英明 (大阪)	篠崎紀幸 (神戸)	下田和夫 (東京)
	寺井直明 (神戸)	藤尾千穂子 (大阪)	南喜久雄 (大阪)
	吉田興治 (大阪)		
Oboe	吉倉持三 (神戸)	小谷房次郎 (大阪)	杉本比 (神戸)
	山本建賢 (東京)		
Clarinet	伊藤肇 (神戸)	菊井圭一 (大阪)	幸泉哲紀 (東京)
	島村猛 (大阪)	下和田功 (東京)	中村源治 (東京)
	藤井邦生 (大阪)	児玉淳一 (大阪)	
Bassoon	下村正利 (神戸)	八島薫 (神戸)	
French- Horn	池北秀実 (東京)	尾上正紀 (神戸)	曾野健三 (神戸)
	田中良雄 (大阪)	広田邦夫 (神戸)	福岡正躬 (東京)
	水野利昭 (大阪)		
Trumpet	大久保邦三 (大阪)	笹井邦彦 (神戸)	瀬川徹 (東京)
	竹島俊紀 (東京)	富田肇 (神戸)	西岡英武 (大阪)
	堀野義彦 (東京)		
Trombone	中西宏至 (大阪)	原田芳樹 (大阪)	松永明 (神戸)
	水垣健 (神戸)	吉田肇 (大阪)	
Tuba	鈴木寛 (神戸)		
Timpani & Percussion	谷口佳津子 (大阪)	岩崎隆一 (大阪)	倉増一 (大阪)
Piano	阪木正男 (大阪)	内藤道 (東京)	

生きている音

7石2バンド
7TR-800
現金正価 ¥ 8,850



スピーカーがいいのです。
オンキョー製品に使われているスピーカーは、
ノンプレスユーン (特許 No. 191448) の他、
数多くのPATENTをもった、すばらしい
性能のスピーカーです。
だからオンキョー製品の
音質は美しいのです。



14型卓上超遠距離用
OT-14FV
現金正価 ¥ 52,000



オンキョーテレビ

トランジスタラジオ
ラジオ・スピーカー
ステレオ装置
大阪音響株式会社